

平成24年度
総合問題
(生活科学科 生活科学専攻)

9:30～11:00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は3枚あります。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白のページは、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで，後の問いに答えなさい。

【省 略】

(永崎一則「話力と人間関係」『現代のエスプリ』No.448, 2004年, 至文堂, pp.182～183)

- 問1 下線部A, Eの漢字の読み仮名をひらがなで書きなさい。また, 下線部B, C, Fのカタカナを漢字に直しなさい。
- 問2 下線部Dと同じ意味の表現を文中から11文字で抜き出しなさい。
- 問3 下線部Gについて, 沈黙の弊害より冗舌の弊害が大きい理由を, 著者の考えをもとにして, 150字以内で述べなさい。
- 問4 下線部Hの空欄ア, イに入る適切な語句を書きなさい(漢字でもひらがなでも可とする)。
- 問5 著者は, 人が他人のことばを素直に受け止める内容について8つ挙げています。あなたが最も大事だと思うものを, 8つのうちから1つ選び, その番号を書きなさい。また, それを選んだ理由を150字以内で述べなさい。

2 食塩は、食物の調味料として大切であるだけでなく体内で生理的に重要な働きをしており、人が生きていく上で欠かせないものです。一方で、塩分の過剰摂取は高血圧症などの病気の原因となるため注意が必要です。食塩と塩分摂取についての下の問いに答えなさい。ただし、文中の％は質量パーセント濃度を示します。

問 1 海水から食塩を作ることが古くから行われています。海水（塩分濃度 3.4％）を煮つめて食塩を 1 kg 作るために海水は何ℓ 必要か、計算を明示して答えなさい（四捨五入して小数点以下第 1 位まで求めなさい）。ただし、海水には食塩のみが含まれるものとし、海水の密度を 1.02 g/ml とします。

問 2 加工食品やファーストフードなどには味つけが濃く高塩分の食品も多いが、その理由を 50 字以内で述べなさい。

問 3 下には、ある 1 日の食事での塩分量の多い食品を示しています。これらの食品による 1 日の全塩分量は何 g か、計算を明示して答えなさい。

ただし、食品はすべて食べ残さないこととし、うどんのつゆも残さないとします。食品名の後の表示は、1 食分 (g) および食品 100 g 中の塩分量 (g/100 g) または塩分割合 (%) を示します。

(朝食) 塩さけ 50 g (塩分 1.8 g/100 g), ロースハム 2 枚 (1 枚 15 g) (塩分 2.7 g/100 g),
みそ汁 1 杯 (150 g) (塩分 0.8%)

(昼食) うどん：めん 1 玉 (150 g) (塩分 0.4 g/100 g), つゆ 260 g (塩分 1.5%)

(夕食) ハンバーグ 120 g (塩分 1.2 g/100 g), ポテトサラダ 80 g (塩分 1 g/100 g)

問 4 次の (1) ～ (3) の調味料を混合せずに単一で用いて、塩分 0.8% のつゆを 150 g 作りたい。必要な調味料の量はそれぞれ何 g か、計算を明示して答えなさい。

(1) 食塩 (2) 赤みそ (塩分 12%) (3) しょうゆ (塩分 15%)

3 図1の右上に表した立体（立方体）は、互いに直交する三つの方向から見たA面図、B面図、C面図を合わせて描くことでその形を表現することができます。

いま図2の例のように、A面図とB面図の形が変化せず、C面図だけが変化する立体を3例イメージし、それぞれのC面図と立体図を、解答欄に定規を用いなくて描きなさい。

図1 立方体の三面図

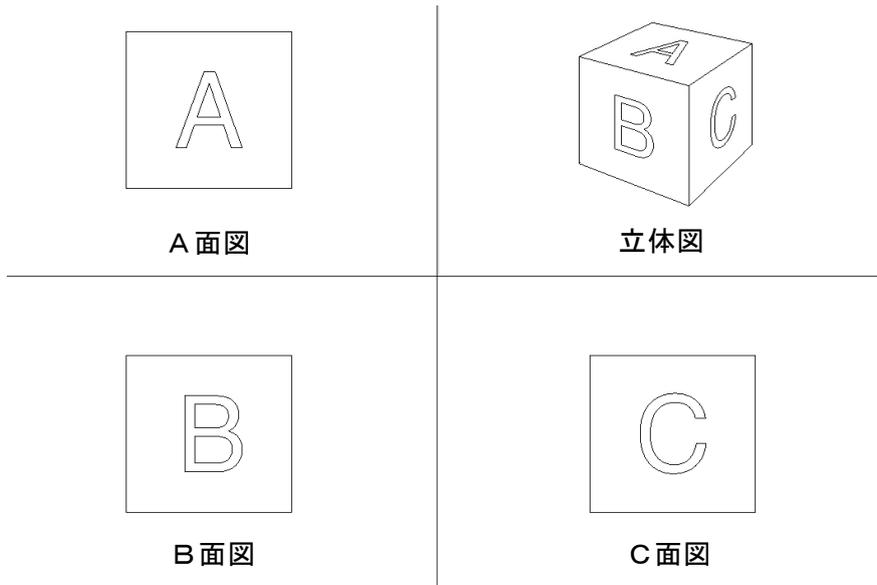


図2 (例) C面図が変化した立体の三面図

